



令和6年 12月号

園だより

江戸川区立船堀幼稚園

園長 小澤明子

—教育目標—
元気な子ども
明るい子ども
考える子ども
思いやりのある子ども

～音を楽しむ～

正門前の新川沿いの桜の紅葉も終わり、季節は秋から冬へと変わろうとしています。

先日、山口ともさんの「ガラクタ音楽会」に行きました。ともさんは、Eテレでも2003年から3年間「ドレミノテレビ」で“ともとも”の愛称で出演されていたので、ご覧になった方もいるかもしれません。ともさんは、空き缶や木の枝、水道管にしゃもじやガラス板などの廃材やゴミを集めて作った楽器を一人で演奏します。不思議で楽しい演奏を聴くと、カラフルな南の楽園や壮大で神秘的な宇宙の世界が広がりました。

音楽会の前半にペッカーと言うペットボトルの楽器を作り一緒に鳴らしたり、呪文のような言葉と同時に新聞紙を破く音で遊んだりしました。身近な物を叩く、こする、鳴らすと様々な音になり、何かをイメージすることができます。音程やリズム感がなくても楽しめるので「正解はないから間違ってもない。音そのものを楽しんでほしい。それが音楽の原点」とのことでした。ともさんは、ゲームやスマホの電子音にあふれた世界ばかりでは、子どもの豊かな感性は育たないのではないかと心配していました。

幼稚園でも落ち葉を踏むと「カサカサってする」と面白がったり、焼き芋のたき火がパチパチする音に気付いたりする子どももいました。子どもたちは好きな音楽をカセットデッキでかけてスズやタンバリンを鳴らしたり、踊ったりするのが大好きです。空き箱や輪ゴムで作ったギターを弾く真似をしたり、どんぐりを容器に入れてマラカスを鳴らしたりする姿もあります。もっともっと自由な発想で音を探求すると楽しそうですね。身近なもので音を楽しんでみましょう。

2学期も皆様には教育活動へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。



山口ともさんの演奏といろいろな楽器



落ち葉を焚いて焼きいもをしました



空き箱で作った楽器で音楽会